

第5回文化財保存活用地域計画策定協議会 会議録

- 1 日時 令和5年2月10日（金）午後1時30分～午後2時40分
- 2 場所 名取市歴史民俗資料館 体験学習室
- 3 出席者 委員 9名（七海雅人・相模誓雄・板橋正春・恵美昌之・本郷一浩・沼倉啓喜・笠原信男・渡邊英樹・渡邊文彦）
欠席 5名（藤澤敦・永田英明・天野順陽・山家ちとせ・藤原淳）
代理主席 1名（佐々木洋）
オブザーバー 2名（関口重樹・遠藤健悟）
事務局 6名（瀧澤教育長・菊池部長・中島課長・浅見課長補佐・鴫崎係長・鈴木主事）

4 概要

事務局

みなさま、本日はお忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

会議の前に、当協議会につきましては「名取市審議会等の会議の公開に関する要綱」により会議を公開することとなっておりますので、ご了承いただきたいと存じます。なお、本会議は名取市文化財保存活用地域計画策定協議会設置要綱 第6条 第2項の規定により、出席委員が過半数に達しておりますので、会議が成立していることをご報告申し上げます。

それでは、ただ今から第5回 名取市文化財保存活用地域計画策定協議会を開会いたします。開会にあたりまして瀧澤教育長よりごあいさつを申し上げます。

（教育長あいさつ）

瀧澤教育長

みなさまこんにちは。本日はご多用のところ、また、あいくの雪模様の中、名取市文化財保存活用地域計画策定協議会にご出席を賜り、厚くお礼を申し上げます。また、日頃から当市の文化財保護行政につきまして、ご理解・ご協力を頂き重ねて御礼申し上げます。

本市の歴史文化の拠点施設として令和2年5月にオープンしたこの資料館ですが、これまでの約2年8ヶ月間の中で、企画展などの公開活動や、歴史的な体験イベントの実施、市内小学6年生の全クラスを対象とした訪問学習、市内の歴史スポットめぐり、ボランティア活動など、毎月できるだけ多くの行事を行い、郷土の歴史の特徴・魅力の周知、それらを活かした取り組みを進めてきました。昨年や一昨年などは、春先に大きな地震があり、コロナウィルスの感染拡大に伴う臨時休館などの期間もありましたが、今年度はこのまま何もなければ、年間を通じて予定していた活動が実施できるかもしれません。1月末の段階で既に昨年度を上回る来館者数に達しており、

徐々にですが、その存在や活動内容なども、市民の皆様には認知されるようになってきたのかもしれませんが。今後も、本計画作成の過程で捉えた「6つのテーマ」などを活かしながら、その保存や活用に取り組んで参りたいと考えております。

さて、昨年3月末に開催致しました第4回協議会の後、同年12月の国の認定を目指し、委員の皆様へ5月初め頃に素案を送付して内容を確認して頂き、パブリックコメント実施についても承諾を得ていたところでしたが、並行して行っていた文化庁との協議に伴う修正・反映作業などに相当の期間を要した事で、認定の時期も今年7月へと変更しておりますので、その経緯なども含め、この後、担当の方から説明をさせたいと思います。また、今回は最後の協議会となりますので、昨年5月以降の変更点などを中心にご説明申し上げ、改めて承認頂きたいと考えておりますので、委員の皆様には、それぞれのお立場から、活発なご意見・ご質問などを頂きたいと思っております。どうぞ、ご協力よろしくお願い申し上げます。

事務局

続きまして、板橋会長からごあいさつを頂戴したいと存じます。よろしくお願いいたします。

板橋会長

みなさん、こんにちは。今日はこの雪の中お集まりいただきありがとうございます。いつも活発な意見をいただいておりますので、今日もよろしくお願い致します。今日は雪がひどいので、早く終われるようにできればと思います。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局

ありがとうございました。また、今年度4月の人事異動に伴い、委員が1名代わっておりますのでご紹介します。都市計画課の渡邊課長でございます。

渡邊委員

初めて参加させていただきます。都市計画課の渡邊と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局

本日の会議に入りますが、名取市文化財保存活用地域計画策定協議会設置要綱 第6条 第1項の規定により、協議会の会議は会長がその議長にあたることとなっておりますので、議長を板橋会長にお願いいたします。

議長

それでは暫時の間、議長の職を務めますので、委員各位の協力をお願いいたします。はじめに、会議録署名委員の指名をいたします。会議録署名委員は、渡邊英樹委員及び本郷委員をお願いいたします。

本日の会議の進め方ですが、事務局から協議事項について説明を受けたのち、質疑・ご意見を頂きたいと思っております。

では、事務局から協議第1号について説明をお願いします。

事務局

(協議第1号について内容説明)

議 長

立派に原案を作っていただきありがとうございました。ただいまの説明について、ご質問・ご意見がありましたら発言をお願いいたします。

七海委員

大変立派なものを作成いただきありがとうございます。11Pの計画期間について確認です。令和4年度に提出して令和5年度に文化庁から承認を受けるということですが、計画期間というのは、認定を受けてスタートするのでしょうか。そうすると計画期間は令和5年度に変更という事になるのでしょうか。

事務局

計画期間については、再度国と話をしてから決めたいと考えております。以前相談した際には、策定した年度も含めて構わないと言われた記憶がありますが、一般的には違和感があると思いますので、可能性としては令和5年度になると思っています。

本郷委員

誤字脱字についてですが、37P、県指定の熊野新宮社についての文章の活字が大きくなっています。また、72P、課題1の次が11になっています。

事務局

修正します。

沼倉委員

大変素晴らしいものを作ってくださいまして、お疲れ様でした。目次についてです。第1章 1. のページが13~16となっていますが13~17の間違いです。また、第5章 2. 歴史文化資源全般の調査に関する方向性・基本方針とありますが、歴史文化資源全般の保存・活用に関する方向性・基本方針だと思います。続いて【挿入表】表6：名取市の未指定文化財一覧とありますが、名取市の未指定の歴史文化資源一覧です。それから第5章71P下から2行目「確かな保存・活用」とありますが「確かな保存・継承」の間違いだと思います。それから80Pの表について、トーンについての説明が83Pに書かれていますが、文中に入れた方がいいのではないのでしょうか。表題文の色と同じですが、他を見るとカラフルな色別になっているので、検討してみたいかがでしょうか。また、116Pにもトーン：重点事業とありますが、表中に重点事業はありませんので、消してはいかがかと思います。

事務局

80Pと116Pのトーンの凡例を表の上に持ってきた方が良いと言う事に関しては、116P同様に上に凡例をつけるよう統一したいと思います。重点事業がなくてもトーンがあるという整理をしたいと思います。

相模委員

第6章 84Pですが、ここで初めて「空間イメージ」という言葉が出てきて、(注)をつけて以下では空間イメージと呼びますとあります。87P以降に区域ごとにも空間イメージが展開されていますので、(注)ではなく本文に入れた方がいいのではないのでしょうか。それと、空間イメージに関連して、91Pに「海のくらし」空間イメージは「海のくらし」とありますが、これではあまり具体的ではありません。空間イメージなので、物や景観が謳われるべきではと思います。例えば、「豊かな海辺の

景観資源」とか関上の港とか貞山運河といったところをアピールポイントにして、もう少し空間イメージを具体的にしたほうが良いと思います。

事務局

84Pの(注)については、表現を変えれば本文に入れることができると思うので、工夫してみたいと思います。続いて海のくらしですけども、このタイトルについても考えてみたいと思います。同じになってしまうことは悩んだところでもあるので、ご提案頂いた内容も含めて再度検討します。

本郷委員

50Pの名取市の歴史文化の特徴について、特徴が6つに分かれているわけですが、下から二番目の「増田宿と洞口家・旧中澤家住宅」が合わないような印象を受けます。「熊野三社と名取老女」や「貞山運河と関上」などは分かりますが、63Pの文章を読んでも、増田宿と農村のくらしという方がいいのではないかと思います。特徴としては、旧中澤家や洞口家ではなくて農村のくらしとした方がいいのではないのでしょうか。

事務局

これまでも何回か指摘があり、文化庁からも同様の指摘がありました。前の歴史文化基本構想からもこのテーマで構成しており、資料館の展示構成もこの6つのテーマに基づいているところから、申し訳ないのですが動かしがたいです。関連文化財群のテーマを考えたときに、イメージしやすいと思って設定したところがありますので、直せないということをご了承いただきたいと思います。

恵美委員

近世の名取を代表する文化財というと、増田の宿駅になり、これに関連するとなると、江戸時代の農村の古民家になる。旧中澤家住宅と洞口家住宅は国指定の古民家であり、近世の農村の古民家を代表するものであることから、洞口家住宅と旧中澤家住宅の組み合わせを並べたのだと思いますし、大きな矛盾はないと思います。

議長

基本構想から続いているところがあるので、かえがたいということですね。

七海委員

先ほどの相模委員と同じく、空間イメージの名称について再考すべきだと思います。空間イメージについて意見は2つあります。87P、熊野の祈りの空間イメージでは「熊野信仰」というだけでは味気ないので、「信仰と霊場の世界」とか工夫が必要だと思います。また、これも相模委員と同じですが、海のくらしの空間イメージが海のくらしでは重複しておかしいと思います。先ほど豊かなという言葉が出ましたが賛成です。海からの恵みなどの言葉でもいいのではとも思います。また、震災からの復興とか、未来への再生などのフレーズが使えないかとも思います。続けて、用語について意見を述べます。一つが用語の統一です。藤原実方についてですが、藤原実方朝臣と藤原実方が出てくるので、藤原実方で統一すべきです。また明治天皇についても、御巡幸、御一行、巡幸など複数あるため、巡幸で統一した方がいいと思います。また、大きなところでは、77Pの図について、以前も意見を出しましたが、あまりにも情報が盛り込まれすぎて、すべてをここで説明してしまおうという図になっています。

77P の図 43 の下、丘陵部平野部海浜部は 75・76P の方向性 2 に該当する図になり、図 42 の資料館の展示とドッキングするような形で配置すべきではと思いました。この上で、図 43 の目標が方向性 3 の図として配置された方が、図 43 の情報を整理できるのではないのでしょうか。図 43 の真ん中、基本方針についてはそのあとの 78P 以降に出てくるので、見やすい展開図と理解しました。このほか、118P にある体制整備に関する方針で①～③が提示されていますが、学校教育に関するものがないように感じました。冒頭のあいさつでもあったように、小学校 6 年生が資料館に来て活用するという内容が計画には記載されていますが、名取の歴史と文化への理解、文化財の活用というところに関しては、名取の未来を担う子供たちが主体的に取り組める教育プログラムなどもさらに視野に入れるべきではないかと思えます

議長

これについてどうでしょうか。

事務局

表現のばらつきについては統一します。空間イメージという文言は、検討したいと思います。77P の図は確かに盛り込みすぎていると思いますが、基本的に国の承認も得ている、パブリックコメントも終えているところで、大きく動かせないと捉えています。最後の学校教育に関することは、③に記載はしていますが、もし変更できるのであれば、変更を検討したいと思います。

七海委員

83P の 50 番にある文化財保存活用地域計画作成事業は、本会議のことでしょうか？

事務局

この作成も含みますし、計画期間が終わってからも見直しますし、そういう意味で入れています。

議長

このほか何かありませんか。見ていると、図なども統一されていないところがありますので、委員さんも後でお伝えいただければと思います。千体地蔵を千体仏と書いているところなどがあります。委員さんにご協力いただいて、統一されていけばよいというところでよいのでしょうか。また、111P の真ん中に人為的被害とあるが、このような表現で良いのでしょうか。

事務局

図等の表現は、あとで教えていただき、統一したいと思います。人為的被害というのは、人がやったように見えるため、表現は検討したいと思う。上の自然災害に対して人為的被害としているところがあるので、検討します。

七海委員

92P について、基本構想段階の 6 つのテーマをそのまま引き継ぎつつ、新しい 5 つの空間設定を行ったため、それぞれの関係を理解するのが難しいと感じました。これらを、市民にどうやって理解してもらおうのかというところが大事だと思います。パブリックコメントが 0 だったのは非常に残念なことで、今後、文化財行政や文化財の保存継承活用を市民に理解してもらいたいと強く思います。その中で 92P にある「歴

史文化の特徴や魅力を創出している個々の歴史文化資源や周辺環境を関連性などにより総体としてとらえたもので、一定区域に集中して分布しているものや、市内全域に分散しているものが混在しています。」というのが、本冊子におけるテーマについての説明なのですが、かなり複雑で分かりにくい文章だと思います。この6つのテーマ設定が、名取の先史から現代における歴史の流れの特徴的なテーマということなので、私自身はこれらを縦軸でとらえ、5つの空間設定は名取市域の中に配置したときの空間としての横軸のような意味あい理解しています。本冊子において、このような概念的な説明を市民に行う際は工夫をしていただきたいと思います。

事務局

ありがとうございます。普通の市民からすると、そもそも関連文化財群や保存活用区域の意味の理解が難しいと思います。実際に活動していくときには、名取の歴史文化の特徴を表すのが区域であるという風にするしかないと思います。このような計画で表現を抽象的にすると、そもそもが理解しがたいものです。なかなか読んだだけでは理解ができませんが、今後市民にお伝えし、活用するときには、より碎いた表現などで理解してもらえよう努めていきたいと思います。

議長

市民だけでなく、市外から来た人にもわかりやすく伝わるようにしていただければと思います。

議長

他に質問や意見などないでしょうか。
それでは協議事項1を承認し、原案を国に提出することに皆さん意見はないでしょうか。

一同

承認。

議長

ありがとうございます。以上で協議事項を終わります。
皆様からたくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。委員各位のご協力によりスムーズに議事を進行することができました。ご協力ありがとうございました。以上で議長の職を解任させていただきます。

事務局

板橋会長、ありがとうございました。

事務局

それでは閉会にあたりまして、本郷副会長からごあいさつをいただきます。

本郷副会長

みなさんご苦勞様でございます。今日の会議を以て最後ということで5という期間は非常に長かったと思いますが、結果としてこのような立派な120ページにわたるものになって、皆様には感謝申し上げたいと思います。今日はほんとうにありがとうございました。

事務局

ありがとうございました。以上で、第5回名取市文化財保存活用地域計画策定協議会の一切を終了させていただきます。大変おつかれさまでございました。

14:40 終了

以上、会議の顛末を記録し、正当なることを証するためここに署名する。

会長 板橋正春 

署名 渡邊英樹 

署名 本郷一浩 

